

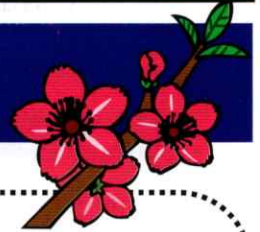
防犯 わかやま

令和4年4月
No. 146



編集発行所
・公益財団法人和歌山県防犯協議会連合会
・和歌山県風俗環境浄化協会
和歌山市雑賀屋町7番地
電話(073)436-1175
印刷所 辻本印刷所

和歌山の犯罪

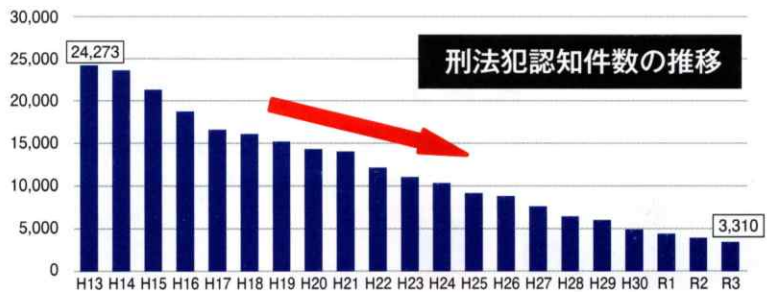


刑法犯認知件数は減少を維持

令和3年中に県下で認知した刑法犯は3,310件で、前年より589件、15.1%減少し、20年連続の減少となりました。ピーク時である平成13年の24,273件と比べると、約13.6%にまで減少したことになります。

減少の要因としては、新型コロナウイルス感染症対策による外出自粛による影響も考えられるところですが、県民の方々の防犯意識の向上、関係機関や自主防犯ボランティア団体の各種取組、街頭防犯カメラの普及などによるところが大きいと感じています。

この傾向を維持し、安全で安心な和歌山県をつくるためには、警察や行政機関、防犯ボランティア団体の連携はもちろんのこと、何より県民の皆様様の御協力が必要です。家から外出する時、自転車を駐輪する時、駐車した車から離れる時は鍵をかけるなど、何気ない普段の生活から防犯の意識を持っていただくようお願いします。



特殊詐欺被害は大幅増加

令和3年中の県下の特殊詐欺被害は59件、被害額は約9,066万円でした。前年に比べ、27件増加しており、危険な状況が続いています。

令和4年も依然として、市役所職員を騙る者から「保険料の払い戻しがある」といった電話がかかったり、パソコンがウイルス感染したとしてサポート代金を電子マネーで支払わされる被害が発生しています。

手口	認知件数	前年比	被害額	前年比
オレオレ詐欺	6件	+4件	19,255,000円	+15,755,000円
預貯金詐欺	1件	-5件	1,100,000円	-6,061,000円
架空料金請求詐欺	22件	+7件	32,909,140円	-106,763,580円
還付金詐欺	28件	+28件	22,475,105円	+22,475,105円
融資保証金詐欺	0件	-1件	0円	-40,000円
金融商品詐欺	1件	±0件	13,016,000円	+10,838,553円
ギャンブル詐欺	0件	±0件	0円	±0円
交際あっせん詐欺	0件	±0件	0円	±0円
その他の特殊詐欺	0件	±0件	0円	±0円
キャッシュカード詐欺盗	1件	-6件	1,900,000円	-3,387,000円
合計	59件	+27件	90,655,245円	-67,182,922円

県警の特殊詐欺被害防止専用フリーダイヤル

電話やメールで、お金やキャッシュカードの話ができれば、まず確認!!

「ちょっと確認電話」これは わなや

0120-508-878

令和3年の少年非行

刑法犯犯罪少年148人、刑法犯触法少年85人の計233人を検挙・補導

(刑法犯犯罪少年：刑法に定める罪を犯した14歳以上20歳未満の者
刑法犯触法少年：刑法に定める罪に抵触する行為をした14歳未満の者)

★少年の犯罪状況

令和3年中に検挙した刑法犯犯罪少年は148人で、前年に比べ10人減少しました。

刑法犯触法少年は85人と、昨年より9人増加しています。

また、触法少年の割合は、36.5%と、過去10年間で最も高い割合となっており、非行の低年齢化が進むとともに、刑法犯犯罪少年の再犯率が35.1%と非行を繰り返す少年の割合が高くなっているのが近年の特徴です。

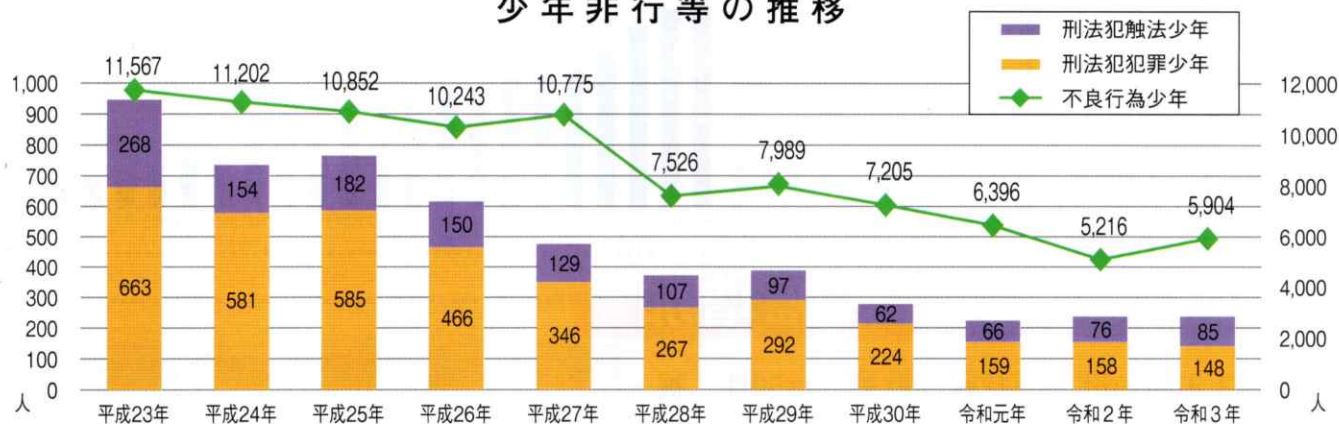
★不良行為少年は増加

令和3年中の不良行為少年は、5,904人で、前年に比べ688人増加しました。

行為別では、「深夜はいかい」と「喫煙」の割合が依然として高く、全体の93.3%を占めています。

少年の非行を防止するためには、その入口となる深夜はいかい、喫煙等の不良行為の段階での措置が重要であり、警察では街頭補導活動を強化しています。

少年非行等の推移



★非行少年を生まない社会づくりの推進

最近の少年非行の背景として、家庭や地域社会の教育機能の低下が影響していると言われており、規範意識が身に付きにくく、コミュニケーション能力も不足していることから、少年が自分の居場所を見い出せず孤立し、疎外感を抱いている状況が見られます。少年の健全育成のためには、こうした問題の解決に社会全体で取り組む必要があり、警察では少年補導員を始めとする地域の皆様方や関係機関と連携して、「非行少年を生まない社会づくり」を推進しています。

★少年に手を差し伸べる立ち直り支援活動

少年の再犯率が全国比で高止まっている状況を踏まえ、警察では「非行少年を生まない社会づくり」の一環として、過去に非行少年として検挙・補導した少年等に積極的に連絡をとり、少年に社会奉仕や生産体験といった様々な活動を体験してもらうなど、少年自身が目標を見いだすための支援活動を行っています。活動には、少年補導員や学生サポーター等のボランティアの協力も得て、様々な世代の人が、厳しくも温かい目で少年を見守り、少年の立ち直りを支援しています。

令和3年中のサイバー空間の脅威情勢



○サイバー犯罪に関する相談件数

1,821 件

○サイバー犯罪の検挙件数・検挙人員

77 件 74 人

Check!

サイバー犯罪に関する相談件数については、昨年比+461件と大幅に増加しています。とわけ多かったのが「詐欺・悪質商法に関するもの」や「迷惑メールに関するもの」であり、これらに該当する相談だけで、全体の半数以上を占める割合でした。検挙関係につきましては、インターネットを使用した持続化給付金詐欺事件など77件74人を検挙しており人員については昨年より28人多くなっています。



以上、令和3年中のサイバー空間の脅威情勢をお伝えしました。ここからは、ますます巧妙化する身近なサイバー犯罪をご紹介します。

サポート詐欺

インターネット閲覧中に突然、下図のような画面（例示）が出て、警告音が鳴り響いたり「×」ボタンを押しても消えなくなったりします。閲覧者が慌てて記載の電話番号に電話をかけてしまうと、電話口にはオペレーター（多くの場合、片言の日本語を話す）が出て、色々と指示をしてきます。

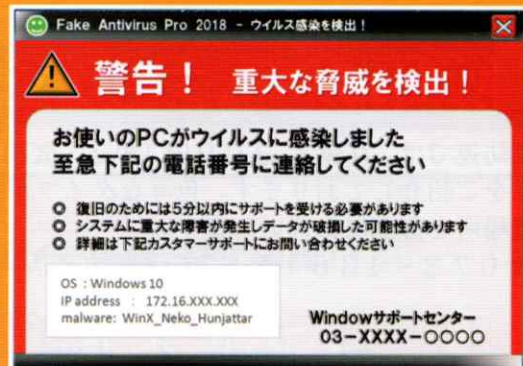
言われるがままに操作すると、遠隔操作ソフトを入れさせられてしまうことになり、その後いかにも何らかの作業を行っているかのように装って、マウスを操作したり画面が切り替わったりするのですが、最終的には、ウイルス除去などの名目で料金を請求され、コンビニ等で購入できる電子マネーなどを購入させられ、そこに記載の番号を送らされて騙し取られるといった被害に遭うというものです。

こういった警告が表示されていたらサポート特殊です。

- ・慌てず、落ち着いて
- ・記載の電話番号に絶対架けない

ようにしてください。

速やかにインターネットから切り離す等し、購入店等に相談してください。



サポート詐欺は特殊詐欺です **ちょっと確認電話 0120-508-878** これは わなや

ポスター・青パト写真・標語を募集します!

- 課題** ポスター ①幅広い世代が参加する防犯ボランティア活動
 青パト写真 ②青色回転灯装備車の活動中の写真
 標語 ③暴力団への加入阻止

◆応募資格 問いません

◆応募のきまり (未発表の作品に限ります。原則として応募作品はお返ししません。)

応募作品の裏面に、住所、氏名(フリガナ)、年齢、電話番号、職業または学校名、学年を明記してください。

○ポスター

- ・デザインは、四切サイズ(540mm×380mm)のヨコ描き。(規格外は審査対象外となります。ご注意ください)
- ・作品にスローガン(キャッチコピー)の文字は入れないでください。

○青パト写真

- ・応募は、一人5点まで。
- ・カラープリントA4サイズ。(規格外は審査対象外となります。ご注意ください)
- ・デジタル写真可。(ただし印画紙にプリントしたもの)
- ・所定の応募票を作品のウラに貼付のうえ、郵送で応募。(応募票は全防連HPからもダウンロードできます)

○標語(キャッチコピー)

- ・応募は、一人1点。
- ・郵便はがきか、はがき大のものにタテ書きで、一枚の用紙に1点のみお書きください。

◆送付先 〒640-8249 和歌山市雑賀屋町7番地 公益財団法人 和歌山県防犯協議会連合会

◆締切り 令和4年6月8日(水)

◆入賞決定と発表

- 入賞作品のなかから、さらに選ばれた作品をポスター化し、全国各地に広く掲出します。ポスターには、お名前と都道府県名を掲載します。
- 入賞作品の著作権は全国防犯協会連合会に帰属します(ポスターの他チラシ、カレンダー等を作成します)。
- 入選結果は、全国防犯協会連合会の広報誌「月刊 安心な街に」全国暴追センターの機関誌「全国センターだより」、ホームページで発表します。(お名前、都道府県・市町村、職業あるいは学校名、学年を公表します)
- 応募に関する個人情報、本事業の運営上必要な限りにおいて使用いたします。

◆入賞と表彰 最優秀賞：1名 表彰状および副賞 / 優秀賞：若干名 表彰状および副賞

◆青パト写真応募上の注意

- 青パト所持団体の許可を得て応募してください。また、個人を特定できる写真で応募する場合は、必ずその肖像権等について応募者が本人に許可を得てください。
- 入選作品は、ネガまたはデータ(CD-R、DVD)を提出してください。
- デジタル写真作品とアナログ写真作品は区別せずに審査いたします。

◆主催 (公財)全国防犯協会連合会 / (公財)和歌山県防犯協議会連合会 / 全国暴力追放運動推進センター
(公財)和歌山県暴力追放県民センター / 警察庁 / 和歌山県警察

～昨年の作品例です～

■ポスター

特殊詐欺・悪質商法の被害防止



■青パト活動写真



■標語

- 連絡は 密でもいいよ 詐欺防止
- 加入阻止 暴力排除の 第一歩

防犯カメラの斡旋について

県防連では、月額3,300円(税込・変則リース)からご利用頂ける防犯カメラをご紹介します。色々なタイプがあります。一度、ご連絡下さい。設置場所を確認にお伺いします。

☎073-436-1175 県防連



屋内用

屋外用

* 賛助会員募集中 *

公益財団法人和歌山県防犯協会連合会(県防連)では犯罪防止、青少年の非行防止、覚せい剤等薬物乱用防止、風俗環境の浄化などに取り組んでいます。

その趣旨に賛同頂ける賛助会員を募集しています。年会費は1口5,000円からです。

(詳細は事務局☎073-436-1175へお問い合わせ下さい)